

## 兵庫大学大学院現代ビジネス研究科履修規程

〔令和2年2月26日〕〔令和2年2月26日制定〕  
学長決定 兵大程第283号

(趣旨)

第1条 この規程は、兵庫大学大学院学則に基づき、現代ビジネス研究科（以下、「本研究科」という。）の授業科目、履修方法、試験、成績評価、修了要件等について必要な事項を定めるものとする。

(授業科目)

第2条 本研究科の授業科目および単位数は、別表1のとおりとする。この場合、各授業科目の単位の基準は、講義科目については15時間の授業をもって1単位とする。演習科目については30時間をもって1単位とする。

(履修登録)

第3条 学生は履修しようとする授業科目について毎学期指定期日までに履修登録届を教務課に提出しなければならない。

2 学生は、現代ビジネス学部の授業科目を受講しようとするときは、研究科長を経て、現代ビジネス学部教務委員長及び当該授業担当教員の許可を得なければならない。

(課程修了の要件)

第4条 課程修了の要件は、2年以上を在学し、別表2に定めるところにより30単位以上を修得し、かつ修士論文の審査及び試験に合格することとする。

2 長期履修制度を利用する場合については別に定める。

(研究指導教員)

第5条 研究科委員会は、各学生の研究指導教員ならびに副指導教員を定める。

(単位修得の要件)

第6条 各授業科目の単位修得認定は、その授業を修了した学期末に行う。

2 前項の認定は、筆記試験、口頭試験、又は研究報告等により行う。

(成績評価)

第7条 成績の判定は点数で、各授業科目の成績評価は、秀、優、良、可、不可の評価をもってする。

2 成績評価は次の基準によるものとし、「可」以上をもって合格とする。

- (1) 秀 90点～100点
- (2) 優 80点～89点
- (3) 良 70点～79点
- (4) 可 60点～69点
- (5) 不可 60点未満

(GPA)

第8条 各学期毎に、GPAを表示し、以下の計算式によって算出する。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

(小数点第3位以下切り捨て)

2 成績評価に対するグレードポイントは、次のとおりとする。

成績評価	グレードポイント
秀	4.0
優	3.0
良	2.0
可	1.0
不可	0.0

(学位の授与)

第9条 所定の単位を修得し、修士論文の審査及び試験に合格した者に対しては、別に定めるところにより、修士の学位を授与する。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、研究科委員会に諮り、大学運営会議の議を経て、学長が決定する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、この規程実施に必要な事項は研究科長が定める。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

別表1 (第2条関係)

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数		備考
		必修	選択	
現代ビジネス基盤科目	現代経済学 A		2	22 単位 以上
	現代経済学 B		2	
	地域創生特論		2	
	実践ビジネス英語		2	
	人工知能特論		2	
	地域データ分析		2	
	システム構築論		2	
	サービスマネジメント論		2	
	情報ネットワーク特論		2	
	システム解析論		2	
地域ビジネス系科目	地域ビジネス特論		2	
	地域経済特論		2	
	地域サービス産業特論 A		2	
	地域サービス産業特論 B		2	
	比較地域文化特論		2	
	企業経営特論		2	
	経営戦略特論 A		2	
経営戦略特論 B		2		
公共政策系科目	公共経済特論 A		2	
	公共経済特論 B		2	
	産業組織特論		2	
	産業組織政策		2	
	金融システム特論 A		2	
	金融システム特論 B		2	
	地域計画 A		2	
	地域計画 B		2	
	地域政策特論		2	
ソーシャルサービス特論		2		
演習科目	地域創生演習 A		2	8 単位 以上
	地域創生演習 B		2	
	地域創生演習 C		2	
	特別研究 (論文指導)	8		

別表2（第4条関係）

科目区分	必要単位数	うち必修科目数（単位）
現代ビジネス基盤科目	22 単位以上	「特別研究(論文指導)」指導教員が 担当する授業科目のうち 2 科目（4 単位）
地域ビジネス系科目		
公共政策系科目		
演習科目	8 単位以上	1 科目（8 単位）
合計	30 単位以上	3 科目（12 単位）